

書牘卷之三（一 往信）

年賀帖

改年之御吉慶、不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>

有<sub>二</sub>尽期<sub>一</sub>候、御全家益御

機嫌能御超歳、目出度

御儀<sub>二</sub>奉<sub>レ</sub>存候、拙家一同

無事加年候条、乍<sub>二</sub>慮

外<sub>一</sub>、御休意可<sub>レ</sub>被<sub>レ</sub>下候、右

年始御祝詞、如<sub>レ</sub>此御座

候、書余期<sub>二</sub>永日之時<sub>一</sub>候、

恐惶謹言

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。

書牘卷之三（一 返信）

新曆之御慶、不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>有<sub>二</sub>

際限<sub>一</sub>候、皆々様被<sub>レ</sub>為<sub>レ</sub>揃、

弥御勇健御越年、珍

重之至<sub>二</sub>奉<sub>レ</sub>存候、将当

方にてても、一同無異加年

之条、乍<sub>レ</sub>憚、御安慮可<sub>レ</sub>被<sub>レ</sub>下

候、右早速預<sub>二</sub>御来札<sub>一</sub>候、

御報旁、年頭御祝儀

申述候、恐惶謹言、

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。